



「淡路島と神戸を結ぶ新たな拠点づくり3」事業 ～島と神戸をむすぶ「つながりカフェ」～ 淡路島でこれからの暮らしを考えるフォーラム(全4回)

認定 NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路
(地域づくり活動 NPO 事業)



目的と課題 さまざまな分野の専門家や実践者を交えて、SODA が実践してきた就労困難者のソーシャルビジネスを軸に、それぞれの地域の課題と地球規模での環境問題について多くの方々と考えていく場を提供する。特に今回は、昨年度、連携できた神戸市の荒れ山林への取り組みから都市が抱える課題についても取り上げ、それぞれの課題について互いにできることを考えてみる機会にしたい。また基調講演では山極壽一先生をお招きし、人はなぜ助け合うのか、そのコミュニティの重要性について、今回のフォーラムの根幹に触れていただく。さらに地元の高校生の参画をこれからも進めていきたい。

活動内容

第1回：里海の恵みを考える

日時：令和7年10月25日(土) 13:30～16:00 会場：南あわじ市広田地区公民館3F

趣旨説明：湯本貴和先生(京都大学名誉教授)

基調講演：「持続可能な水産資源管理と海業」石川智士先生(京都府立大学農学食科学部・教授)

淡路島での実践報告：「水産振興と漁村のまちづくり」本丸勝也氏(株式会社まるやまと)

パネルディスカッション ＊質疑応答を含む 参加人数：25人



第2回：里山の恵みを生かすには

日時：令和7年11月23日(日) 13:30～16:00 会場：南あわじ市市地区公民館 講義室

趣旨説明：湯本貴和先生

基調講演：「里山に植礼をつけて循環型経済へ」黒田慶子先生(神戸市副市長)

淡路島での実践報告：「獣害対策と地域づくり」水田泰善氏(馬回「清流の里会」代表)

「多機能防災チェアに活かす」洲本実業高校工作研究部

パネルディスカッション ＊質疑応答を含む 参加人数：46人



第3回：「誰ひとり取り残さない社会をめざして」

日時：令和7年12月13日(土) 13:30～16:00 会場：南あわじ市市地区公民館 講義室

趣旨説明：湯本貴和先生

基調講演：「社会的包摂と日本のつながりづくりの課題」福原宏幸先生(大阪公立大学客員教授)

淡路島での実践報告：「共に生きる～おたがいさま中川原活動を通じた地域住民との関り」橋詰一則氏(ふくろうの郷おのころの家)

「誰もが役割のある地域づくり」木田薫(認定 NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路)

パネルディスカッション ＊質疑応答を含む 参加人数：32人



第4回 全体会「共感が地球を救う」

日時：令和8年1月17日(土) 13:30～17:00 会場：南あわじ市広田地区公民館3F

基調講演「共感力の進化と人類の未来」講師：山極壽一先生(総合地球環境学研究所所長、京都大学名誉教授)

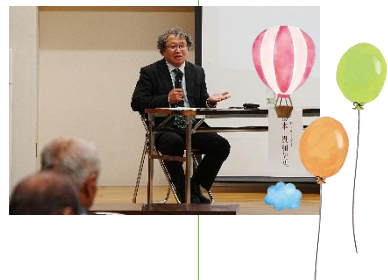
パネルディスカッション

コーディネーター：伊藤真之先生(神戸大学サイエンスショップ副室長)

パネリスト：湯本貴和先生(京都大学名誉教授) 鷲尾圭司先生(NPO 法人里海づくり研究会副理事長)

福原宏幸先生(大阪公立大学客員教授) 黒田慶子先生(神戸市副市長)

特別ゲスト：長野ヒデ子先生(絵本作家) 守本憲弘(南あわじ市長)



成果と今後の展望 里海、里山、暮らしの三つの視点から改めて地域の現状や広く世界情勢などの背景にも目を向ける機会となった。また島で新たに取組んでいる「海業」や神戸市が取り組んでいる「里山プロジェクト」、あるいは聴覚障害者施設が取り組んでいる「地域とのつながり」の実践等、具体的な取組を学び、話し合い多くのみなさんと共有することができた。里山プロジェクトでは、高校生に発表していただき、子どもたちの意見も聞くことができた。県民局をはじめ、行政や専門機関、大学からの参加もあり地域の課題を「我がこととして捉える」そんな機会にもなった。つながりマルシェについては、コメ不足の折、淡路島のお米を神戸で販売することも試みた。今後、就労困難者を対象に農業への参入も視野に入れて活動を展開している。